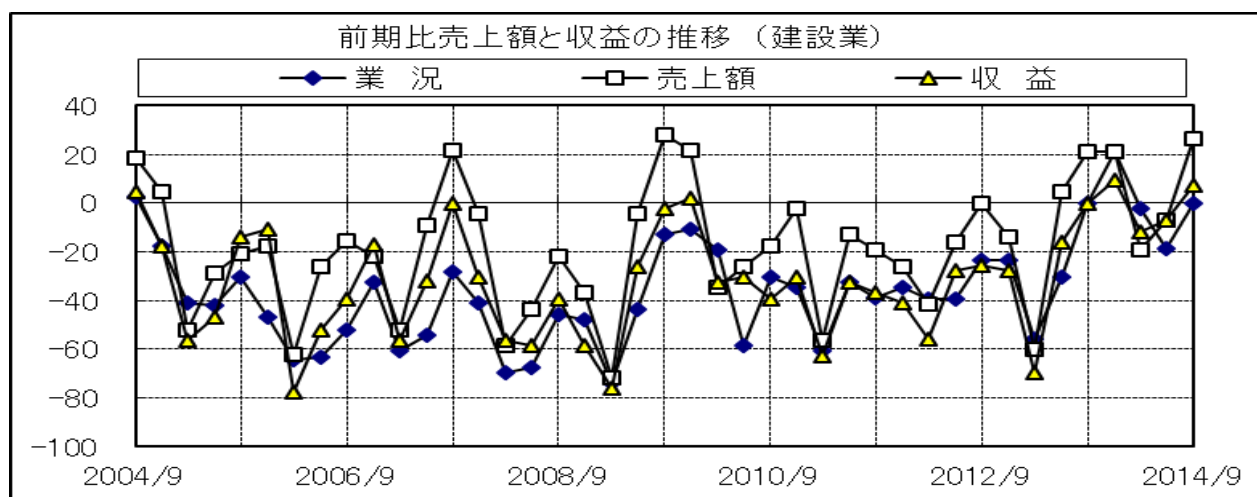


## 建設業 42企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-2.4	-19.0	0.0	9.6
売上額	-19.1	-7.1	26.2	9.5
収 益	-11.9	-7.1	7.2	-7.1

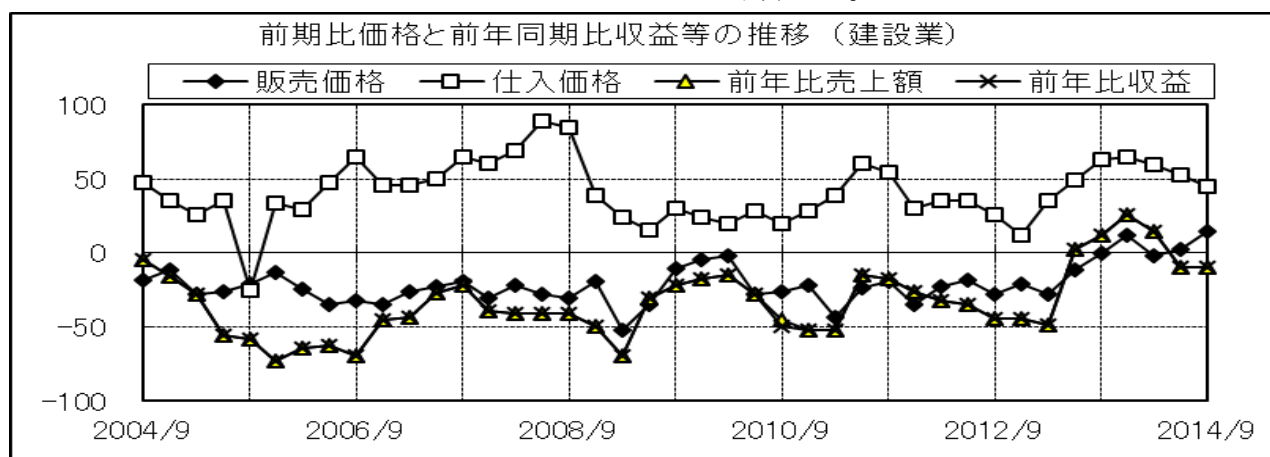
今期の業況判断DIはゼロ水準と、前期比 19.0ポイント上昇した。地区別DIの水準は高い順に、えりも、広尾、静内・様似が同率で続き、三石、浦河となった。前年（△0.1）比では、0.1ポイント上昇した。売上額判断DIは 26.2 と、前期比 33.3ポイント上昇した。収益判断DIは 7.2 と、前期比 14.3ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
請負価格	-2.4	2.4	14.4	7.1
仕入価格	59.5	52.4	45.2	31.0

請負価格判断DIは 14.4 と前期比 12ポイント上昇した。仕入価格判断DIは 45.2 と、前期比 7.2ポイントの下降で価格上昇基調を弱めた。前年比では請負価格（前年 0.0）は 14.4ポイント上昇、仕入価格（同 62.8）は 17.6ポイント下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-4.7	-19.0	4.8	14.2
人手状況	-23.8	-4.8	-16.6	-21.5

残業時間判断DIは 4.8 と前期比 23.8ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは△16.6 と、前期比 11.8ポイント下降し、人手不足感を強めた。

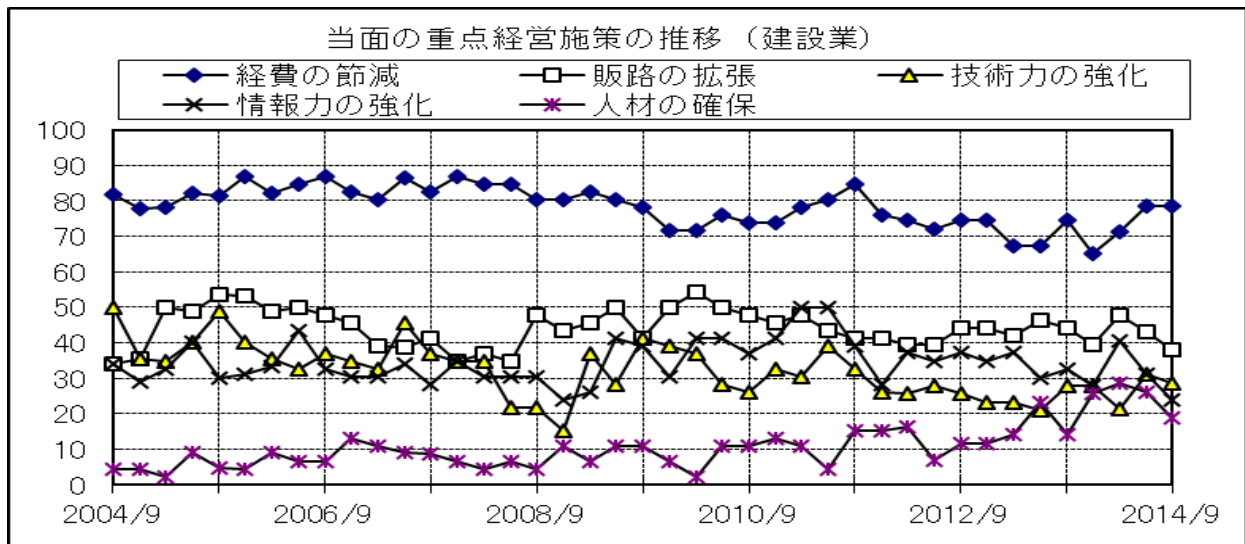
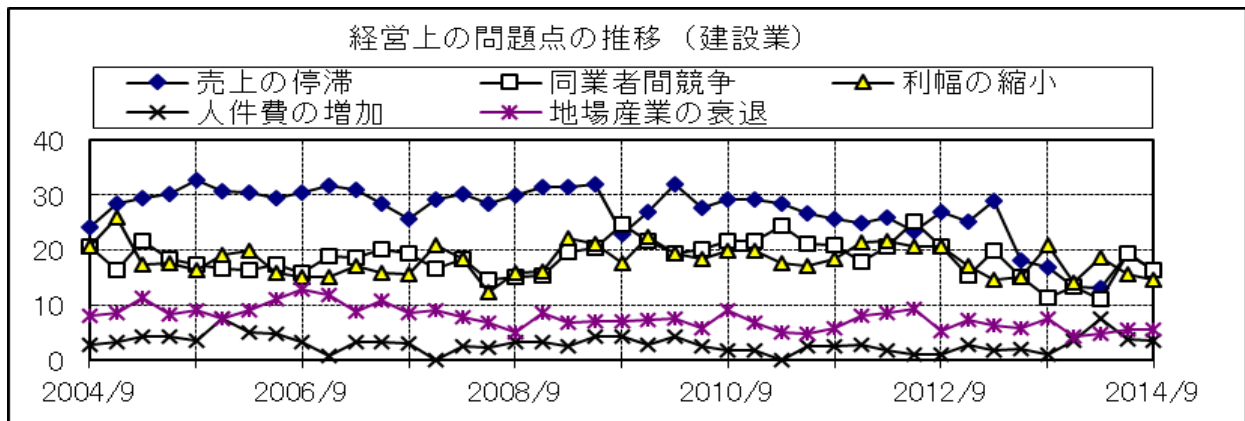
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは $\Delta 7.1$ ポイントで、前期比2.3ポイントの下降となった。  
設備投資実施企業割合は16.7%と、前期比7.1ポイント下降、前期比3社減の7社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」、「同業者との競争」が同率のトップで16.4%、「利幅の縮小」が14.5%、「材料価格の上昇」が10.9%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ78.6%、次いで「販路を広げる」38.1%、「技術力を高める」28.6%、「情報力を強化」が23.8%と続いている。「人材の確保」も19.0%を占めている。



## 来期の見通し

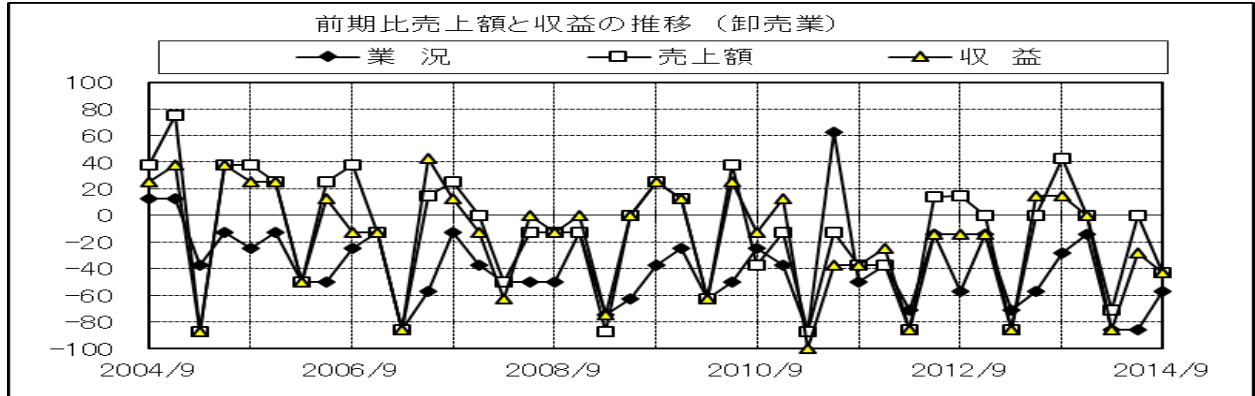
来期の予想業況判断D Iは9.6、今期ゼロ水準から9.6ポイントの上昇を見通している。  
予想売上額判断D Iは9.5と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。  
予想収益判断D Iは $\Delta 7.1$ と、今期比14.3ポイントの下降を見通している。  
予想請負価格判断D Iは7.1と、今期比7.3ポイントの下降を見通している。  
予想仕入価格判断D Iは31.0と、今期比14.2ポイントの下降を見通している。

# 卸売業7企業（回答率100.0%）の調査結果です

## □ 景況

DI値の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業況	-85.8	-85.7	-57.2	-42.9
売上額	-71.4	0.0	-42.9	-14.3
収益	-85.7	-28.6	-42.9	-14.3

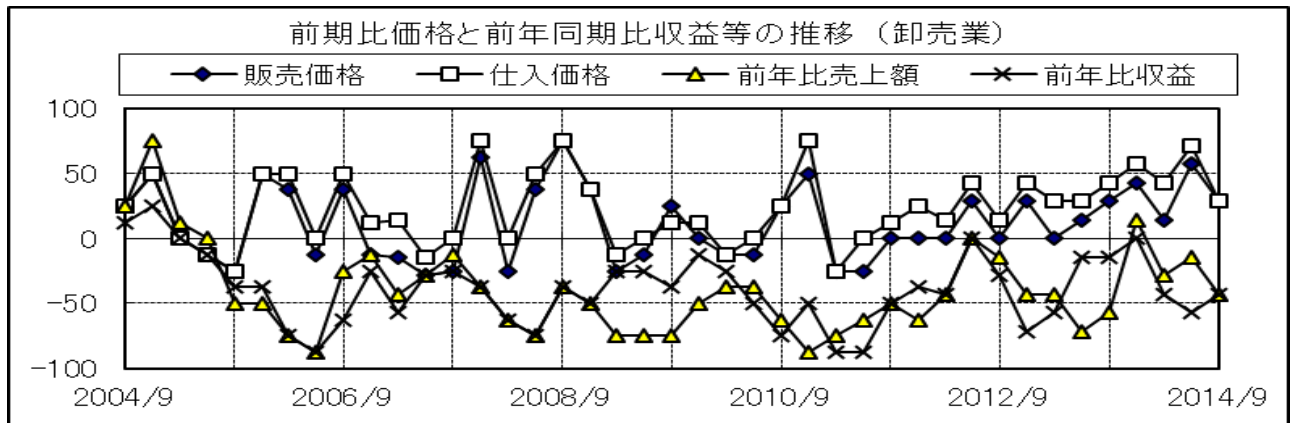
今期の業況判断DIは△57.2と、前期比28.5ポイントの上昇。地区別の水準は、静内地区が改善したが、他の地区では低い水準が継続された。前年（△28.6）比では28.6ポイント低下した。売上判断DIはゼロ水準から△42.9へ、収益判断DIもマイナス幅が拡大し△42.9となった。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI値の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	14.3	57.1	28.6	28.6
仕入価格	42.8	71.4	28.6	57.2

販売価格判断DI 28.6は、前期比28.5ポイント下降した。仕入価格判断DI 28.6は、前期比42.8ポイント下降した。業種別にみると、水産は販売・仕入価格ともに下降。食品は販売価格は横ばいで、仕入価格は下降となった。前年比では、販売価格（前年28.6）は横ばい、仕入価格（同42.8）は14.2ポイントの下降となった。



## □ 雇用面の動き

DI値の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-28.6	0.0	-28.6	-14.3
人手状況	14.3	-14.3	0.0	0.0

残業時間判断DIはゼロ水準から28.6ポイント下降した。

人手過不足判断DIは前期比14.3ポイント上昇し、過不足なしの適正水準となった。

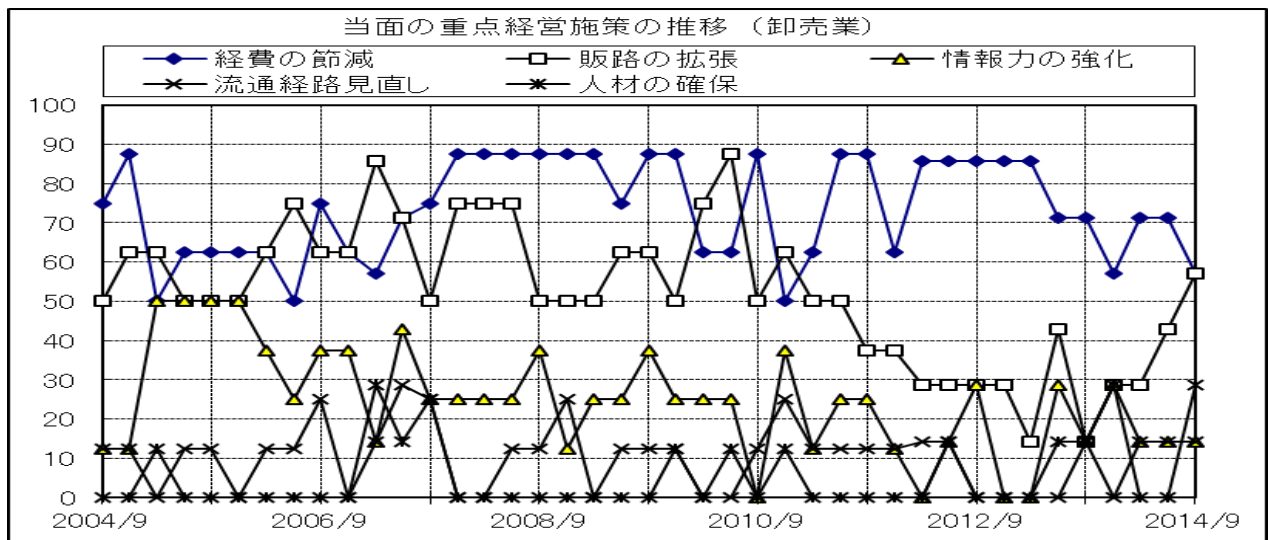
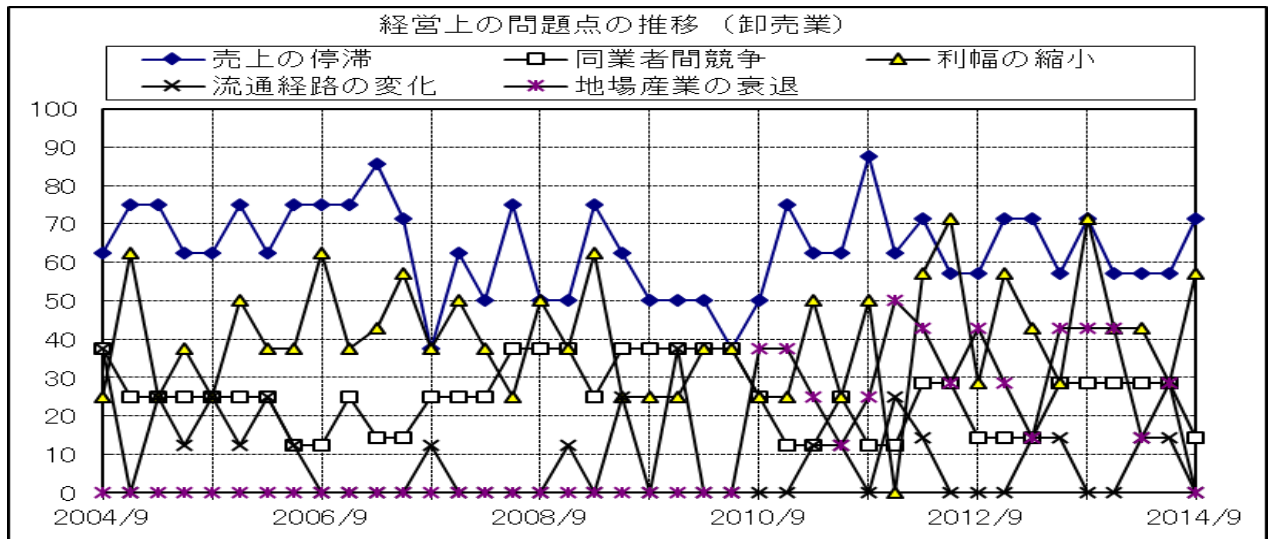
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは、前期に引続きゼロ水準が継続された。投資実施企業は、前期と同数の1件、来期の設備投資の予定も1件となった。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「利幅の縮小」57.1%、「諸経費率の増加」が28.6%で続いている。

重点経営施策では、「販路を広げる」・「経費を節減する」をトップに挙げ57.1%、次いで「人材を確保する」が28.6%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは $\Delta 42.9$ で、今期比14.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは $\Delta 14.3$ で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iは $\Delta 14.3$ で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは28.6で、今期横ばいの水準を見通している。

予想仕入価格判断D Iは57.2で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。